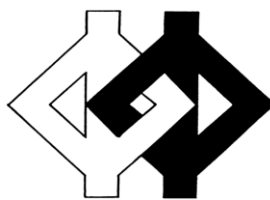


鶴岡市立鶴岡第二中学校だより

かがやき

～考え・伝え・学び合う～

令和8年8月25日【No.5】



二中 HP QR コード

(TEL) 0235-22-8322

(メール) dai2-j@tsuruoka.ed.jp

2 学期始業式～佐藤大吾校長先生のお話～

充実した夏休みを終え、こうして皆さんの元気な姿とともに2学期のスタートを切れることを大変嬉しく思います。

まず先週の日曜日、赤川花火大会の翌朝の清掃に二中生が100名近くも集まってくれたことに感謝します。今、全国各地で花火大会の存続が危ぶまれています。ニュースの解説では、人件費などの様々な経費が掛かるようになってしまっていて存続できなくなっているのです。でも、私は本質的な課題は経費ではないと思っています。花火大会を支える人の熱量です。赤川花火は、支える人がたくさんいるから、存続できているのです。ですから、二中生が「自分たちの地域を自分たちの手で良くする側」の一人となってくれたことを、大変誇らしく思っています。

さて、1学期の終わり頃、職員室や校長室のエアコンが故障し、職員室に仮設のエアコンが設置されました。通常のエアコンと違い、出てくる水を外へ流せないため、ホースの下にポリタンクを置いて水を溜めています。落ちてくる水は一滴、また一滴とわずかなもので、じっと見つめていても一向に溜まる気配はありません。ところが、2～3時間後にふと見てみると、驚くほど水が溜まっています。今朝、久しぶりに昇降口の前に立って皆さんを迎えました。その際、昇降口のすぐ前にある、一昨年植えたばかりの「青桐（あおぎり）」の若木に目が留まりました。今年の冬はアスパラガスを少し長くした程度だった若木が、たった3週間の夏休みの間にも驚くほど伸び、今や2メートルを超えています。半年という単位で見ると、すさまじい成長を遂げています。そしてそれは、皆さんも同じです。毎日顔を合わせていると小さな変化には気づきにくいものですが、3週間ぶりに会った皆さんは、雰囲気ぐっと大人っぽくなっていました。

日々の変化は、あのエアコンから落ちる水のように、一滴一滴のわずかなものかもしれません。しかし、昨日とまったく同じ人はいません。人は誰も、毎日少しずつ変化し、成長しています。だからこそ、「あの人はこういう人だ」「どうせ変わらない」といった勝手な決めつけは絶対にしないでほしいと思います。それは、あなた自身もです。あなたのことを「こんな人だ」と一番決めつけているのは、ひょっとしたら、あなた自身かもしれません。自分も、そして目の前の仲間も、日々新しく生まれ変わり、成長し続けている存在だということを、いつも意識してほしいと思います。

2学期は4か月という長い時間があります。3週間でもこれほど伸びる皆さんですから、2学期が終わる頃には、さらに大きく大人へと近づいているはずです。特に今学期には、大運動会や合唱コンクールという大きな行事があります。これらは、日々の成長の一滴の粒をさらに大きくし、皆さんを一回りも二回りも大きく育ててくれる貴重な機会です。

互いの変化と成長を認め合い、一滴一滴の積み重ねを大切にしながら、実り多き充実した2学期を創り上げていきましょう。皆さんのさらなる飛躍を期待し、式辞といたします。